

— あなたと描く水戸の未来 —
市民1万人アンケート結果について

1 調査の目的

本調査は、次期総合計画の策定や今後の政策立案に向けて、ポストコロナにおけるまちづくりなど、新たな行政課題についても市民の意向を確認しながら、市政に対する評価・意見等を把握し、行政運営に反映させることを目的とする。

2 調査の設計

- (1) 調査対象 水戸市在住の満15歳以上の個人
- (2) 対象人数 10,002人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から年齢階層別の層化無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送及びインターネットによる回答
- (5) 調査期間 令和4年5月12日～5月31日
- (6) 回収結果

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
10,002	4,991	4,978	49.8%

【前回】 57.2%

3 調査結果の概要

【属性調査項目】

- (1) 回答者の属性

ア 性別

男性	女性	その他, 回答しない	無回答
42.1%	55.1%	1.2%	1.5%

イ 年齢別

15歳～ 19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
4.5%	8.0%	11.9%	12.9%	15.5%	18.6%	19.8%	7.5%	1.2%

(参考) 年齢別回収率

15歳～ 19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
31.5%	28.0%	41.3%	45.0%	54.1%	64.8%	69.1%	52.7%

【定点調査項目】

(2) 水戸市の印象

約7割が「住みやすいと感じる」

水戸市の印象について、27項目を評価してもらった結果を点数化すると次のとおりである。

ア 評価が上位の項目

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
歴史と伝統がある	住むところと自然が調和している	水が豊富できれいである	水戸市に愛着や誇りを感じる	病院などの医療機関が整っている
94.7点	85.5点	62.7点	58.0点	55.3点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
歴史と伝統がある	住居の周囲が自然に恵まれ静かである	災害などが比較的少なく安全であり、公害も少ない	水が豊富できれいである	住居と職場（学校）が近く通勤（通学）に便利である
88.2点	68.8点	48.3点	45.4点	37.7点

イ 評価が下位の項目

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
都会的な雰囲気がある	商業が盛んで活力を感じる	魅力ある企業が多い	交通機関が発達している	祭りや防災訓練など地域の行事が盛んである
-78.3点	-57.4点	-53.2点	-39.9点	-27.3点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
都会的な雰囲気がある	産業が盛んで活力を感じる	魅力ある職場が多い	レジャーや娯楽のための施設が多く、生活を楽しめる	交通機関が発達しており道路も整備されている
-57.9点	-50.4点	-44.7点	-25.7点	-22.4点

ウ 全体的な評価

全体的な評価となる「住みやすいと感じる」では、「そう思う」(23.4%),「まあそう思う」(48.9%)を合わせると7割を超えている。また、その評価点は84.9点と高く、住みやすさについて、高く評価されている。

	住みやすいと感じる人の割合	評価点
今回	72.3%	84.9点
前回	48.6%	55.4点

$$\blacksquare \text{評価点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「まあそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回 答 数 (無回答を除く)}} \times 100$$

※評価点の算出方法については、一部変更(「そう思わない」を「あまりそう思わない」・「そう思わない」に細分化)したため、前回の点数は参考として示している。

(3) 住まいへの意識

希望の住まい方は、所有(持ち家)、一戸建て、市街地

今後の住まい方に近い考えを選択してもらった結果は、次のとおりである。

区分	A	Aと考える	Aに近い	い え な い ど ち ら と も	Bに近い	Bと考える	B
所有の形態	所有(持ち家)	58.0%	11.1%	9.6%	3.8%	6.4%	賃貸
家の形態	集合住宅 (マンション・ アパート等)	10.4%	5.6%	11.1%	7.5%	41.6%	一戸建て
場所	市街地	19.3%	16.1%	19.5%	8.6%	10.3%	郊外

※無回答は除いている。

(4) 水戸市の目指す姿

全体としては、医療・健康づくりの充実、福祉の充実、子育て支援の充実が上位だが、年齢層による違いがある

今後、水戸市がどのようなまちを目指していくのが望ましいと考えるか17項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
医療が充実し、健康に暮らせるまち 44.1%	福祉（高齢福祉や障害福祉など）が充実しているまち 42.5%	安心して子どもを生み育てることができるまち 39.5%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 30.7%	災害に強い安全なまち 30.1%

(年齢別)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
15歳～19歳	安心して子どもを生み育てることができるまち 41.8%	多様な遊びを楽しむまち 39.1%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 26.7%	教育が充実しているまち／災害に強い安全なまち	22.2%
20歳代	安心して子どもを生み育てることができるまち 57.0%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 29.8%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 28.3%	多様な遊びを楽しむまち 28.0%	災害に強い安全なまち 19.5%
30歳代	安心して子どもを生み育てることができるまち 62.2%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 30.5%	教育が充実しているまち 28.5%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 27.3%	災害に強い安全なまち 23.4%
40歳代	安心して子どもを生み育てることができるまち 44.9%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 38.4%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 32.3%	福祉が充実しているまち 31.6%	災害に強い安全なまち 27.1%
50歳代	福祉が充実しているまち 46.2%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 45.9%	災害に強い安全なまち／都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 33.2%	安心して子どもを生み育てることができるまち 30.9%	
60歳代	福祉が充実しているまち 53.6%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 53.3%	安心して子どもを生み育てることができるまち 34.1%	災害に強い安全なまち 33.0%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 31.7%
70歳代	福祉が充実しているまち 55.9%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 52.9%	災害に強い安全なまち 36.1%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 31.0%	安心して子どもを生み育てることができるまち 30.4%
80歳以上	福祉が充実しているまち 61.9%	医療が充実し、健康に暮らせるまち 56.0%	災害に強い安全なまち 32.0%	安心して子どもを生み育てることができるまち 29.9%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 29.1%

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害に強い安全なまち 48.7%	高齢者や障害者が安心して生活できるまち 46.5%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 40.4%	子どもを安心して育てることができるまち 33.0%	自然に恵まれたまち 21.3%

(5) 施策の今後の重要度

全体としては、災害対策、総合医療対策、防犯が上位だが、年齢層による違いがある

今後、重要だと思う施策について、38項目を評価してもらった結果を点数化すると次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害に強いまちづくり（地震、水害対策など） 139.6点	総合医療対策（病院等の整備や緊急時の医療体制の整備など） 137.5点	防犯の充実 135.8点	生活用水（飲み水など）の安定供給、品質確保 131.2点	生活排水の処理（下水道などの整備） 125.8点

(年齢別)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
15歳～19歳	防犯の充実 153.2点	災害に強いまちづくり 146.6点	総合医療対策 145.5点	交通安全の充実 139.6点	公共交通の充実 137.2点
20歳代	防犯の充実 148.7点	災害に強いまちづくり 146.9点	子育て支援 146.0点	交通安全の充実 139.3点	総合医療対策 137.4点
30歳代	災害に強いまちづくり 144.7点	子育て支援 143.0点	交通安全の充実 141.4点	総合医療対策 139.8点	防犯の充実 139.6点
40歳代	災害に強いまちづくり 154.3点	防犯の充実 151.4点	総合医療対策 142.9点	交通安全の充実 142.6点	身近な生活道路の整備 138.8点
50歳代	災害に強いまちづくり 142.9点	総合医療対策 141.7点	防犯の充実 137.9点	生活用水の安定供給、品質確保 133.6点	生活排水の処理 129.2点
60歳代	総合医療対策 138.0点	災害に強いまちづくり 137.3点	防犯の充実 131.5点	生活用水の安定供給、品質確保 129.9点	生活排水の処理 126.1点
70歳代	生活用水の安定供給、品質確保 132.2点	災害に強いまちづくり 128.4点	総合医療対策 128.2点	生活排水の処理 126.9点	ごみの収集 124.7点
80歳以上	総合医療対策 134.5点	生活用水の安定供給、品質確保 133.6点	生活排水の処理 129.9点	高齢者福祉 125.8点	災害に強いまちづくり／ごみの収集 121.1点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害に強いまちづくり	高齢者・障害者福祉施策	雇用対策や勤労者福祉対策の充実	身近な生活道路の整備	総合医療対策

$$\blacksquare \text{評価点} = \frac{\text{「重要である」} \times 2 \text{点} + \text{「どちらかといえば重要である」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえば重要ではない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要ではない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回 答 数 (無回答を除く)}} \times 100$$

※評価点の算出方法等については、前回と異なるため、前回の順位のみを参考として示している。

(6) 生活環境の満足度

約6割が「満足」, 「やや満足」

総合的にみた住まいのまわりの環境について、満足しているかどうかを選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

満足 12.8%	やや満足 46.1%	どちらともいえない 20.4%	やや不満 12.0%	不満 3.0%	無回答 5.6%
-------------	---------------	--------------------	---------------	------------	-------------

【前回】

満足 13.9%	やや満足 59.6%		やや不満 18.3%	不満 3.9%	無回答 4.3%
-------------	---------------	--	---------------	------------	-------------

※今回から選択肢に「どちらともいえない」を追加している。

【特別調査項目】

(7) 子育て支援施策への要望

各種支援や環境の整備など、上位9項目がほぼ横並びとなり、子育てに関する幅広い支援が求められている

子育て支援について、力を入れたら良いと思う施策を16項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ひとり親家庭に対する支援 25.3%	児童虐待防止対策 25.0%	地域における子育て支援施設の整備 24.0%	公園、遊び場などの整備 23.7%	放課後児童対策（学童クラブ、放課後学級等） 21.6%

(8) 超高齢社会への対応に関する要望

通院・買い物するための交通支援、施設・在宅サービスの充実が上位

超高齢社会への対応について、力を入れたら良いと思う施策を13項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自家用車を使わずに通院・買い物するための支援 63.1%	介護が必要になったら施設に入所することができるサービスの充実 36.2%	介護が必要になっても自宅で生活することができるサービスの充実 33.5%	希望に合わせて長く働くことができる機会の確保 30.7%	年金や保険などの制度 28.9%

(9) 防災対策への要望

食糧等の備蓄、救助・救急、避難所等の耐震化が上位

防災対策について、力を入れたら良いと思う施策を14項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
飲料水、食糧、日用品などの備蓄 51.3%	救助・救急、応急医療体制づくり 37.7%	避難所やライフライン施設の耐震化 37.0%	情報の収集や伝達体制づくり 31.1%	多様なニーズに対応した避難所運営 23.6%

(10) 環境問題対策への要望

自然エネルギーの有効利用、ごみの減量化、森林や緑地の保全、省エネ等が上位

環境問題について、力を入れたら良いと思う施策を11項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
太陽光や風などの自然エネルギーの有効利用 45.2%	ごみ減量化、リサイクル活動の支援 38.9%	森林や緑地などの保全 32.8%	省エネ機器や電気自動車等の普及、節電対策、公共交通の利用促進 32.7%	不法投棄を防止するための対策 27.8%

(11) 健康づくり施策への要望

特定健診等による病気の早期発見・予防，日頃からの運動が上位

市民の健康づくりに向けて力を入れたら良いと思う施策を11項目から三つまで選択してもらった結果は，次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
特定健診，がん検診等の推進	生活習慣病の予防の推進	日頃からの運動（ウォーキングなど）の推進	生きがい（ボランティア活動，生涯学習，趣味など）づくりの推進	こころの健康づくりの推進
42.3%	42.2%	40.5%	36.1%	25.8%

(12) 市民と行政との協働

清掃，美化・緑化，高齢者や障害者の支援，防災等の活動が上位

参加したいと思うまちづくりや地域の活動について，14項目から三つまで選択してもらった結果は，次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身近な道路や公園の清掃活動	美化・緑化を進める活動	高齢者や障害者を支援する活動	防災や防犯，交通安全の活動	子育て支援や青少年の健全育成を図る活動
39.5%	31.7%	25.5%	24.6%	20.9%

(13) 中心市街地の活性化

ア 中心市街地への来訪頻度

月に1回以上が約6割の一方で、ほとんど行かないも約2割

中心市街地へ出かける頻度について、6項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ほとんど行かない	月に2～3回	月に1回	年に4～5回	週に3回以上
21.0%	19.1%	16.6%	15.8%	14.0%

イ 中心市街地に足を運ぶ目的

前回と同様の「買い物」、「飲食」に加え、新たに「遊び」が上位****

中心市街地へ出かける頻度が「週に3回以上」、「週に1～2回」、「月に2～3回」又は「月に1回」とお答えの方に、足を運ぶ目的について、10項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
買い物	飲食	通勤・通学	遊び	通院
76.4%	35.6%	19.8%	19.0%	17.0%

ウ 中心市街地に足を運ばない理由

店舗に関すること、駐車場の利用しにくさ、気軽に立ち寄れる場の少なさが上位

中心市街地へ出かける頻度が「年に4～5回」又は「ほとんど行かない」とお答えの方に、行かない理由について、12項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
行きたい店舗がない	駐車場が利用しにくい	気軽に立ち寄れる場が少ない	どんな店舗があるかよく知らない	物価が高い
62.4%	52.9%	33.4%	15.9%	13.7%

(14) 水戸市の魅力ある資産

「偕楽園」、「千波湖」、「弘道館」といった自然、歴史的資源や「まつり」が上位

水戸のまちの中で、大切に思うもの、次の世代に残していきたいものについて、22項目から三つまで選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
偕楽園	千波湖	弘道館	まつり（水戸の梅まつり、水戸黄門まつり）	水戸芸術館
84.7%	59.9%	26.1%	25.3%	12.4%

(15) デジタル技術の活用への要望

行政手続きのデジタル化，セキュリティ対策の強化，デジタル弱者の支援が上位

デジタル技術の活用について，力を入れたら良いと思う施策を 11 項目から三つまで選択してもらった結果は，次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
行政手続き（各種申請）や相談受付等のデジタル化	個人情報保護など情報セキュリティ対策の強化	デジタル機器（パソコン，タブレット等）に不慣れな方への支援	学校における ICT教育の推進	SNS等による市からの情報発信方法の多様化
54.9%	47.5%	39.5%	23.4%	17.7%

(16) ポストコロナのまちづくりへの要望

医療体制の充実，健康危機管理の充実，学習環境の確保が上位

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ，ポストコロナのまちづくりを進めるに当たって，力を入れることについて9項目を評価してもらった結果を点数化すると次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
医療体制の充実	健康危機管理（感染症等の健康被害への対応など）の充実	子どもたちの学習環境の確保	経済活性化に向けたサポート	健康づくりに関する事業の充実
129.0点	106.4点	104.5点	88.8点	84.4点

$$\blacksquare \text{評価点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「まあそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回 答 数 (無回答を除く)}} \times 100$$

【市政についての意見・要望】

自由記入形式の市政についてのアイデア・要望，意見は，延べ2,122件あり，「公共交通」（173件）の分野が最も多く，次いで，「子ども子育て」（145件），「産業」（135件），「交通安全」（120件）の分野となっている。